

行所 中学校 新闻

考えていまれかかて痛い

は月女かを珍べなか

う次のよ

先生はしはらく頭をかしげて

きます

私はそっと規則向に至了 ヒニ・オーして様

校長先生ちりや

あんすります

10いってす.



素ーレいうですが、何にか良い方法」れか君与古日は事ですで敬い、る時 はないせのでしょうから 校長之生、私中日も早、学校を平孝人格を作って行かわげれりませんと に生徒に答えました すると、校長生はすでとすよう時でも、うとこのことをんかけてい カカリカナナー そりで団リテナれ、学校を本意 するとはとうしてり六年前は一 の生徒が突然校長之生に握っ木が毎日ゃく休ますに大きている 校長下ホマート いヨーひが 夜一口極の不の時に長い年月かかりま

ても、家庭にる時でも原産と吸えてき

て行人様に君も大毎日な休ま丁に

けななりません

一般の木かなくなりまのかで行ってって百を早

アンス事に気がファ ちれか ける流が人格

これを南いて生徒は自分のたとかまとかっ

を作る様にんかけすして、皆えもう治の

ってす、丈夫な祝を作る大人だけ かるますが、とうかけるからか 大いを子丁短期回名章十多と ふう長年月かかかります ころ月 立取り極う木かいります。 正水が 校に来ているける状な人情をよう社 ゲルの物をか作りにかりました 君から 在の不になるためにけ 三年し 人向にかりないかとかっことによる っド之、ました 会院後号為丁午日為ほ之歌 天主様ける、ぞれの目的の名づける そうですせん 程しかからない木では何の後に

4

ナドウ神文

1一三野命書きました

アンアにも色々な言意をかありますが 前し其う中で一番大小でいるのはど 下下五本が、ララ文語、ド小語、多 が汗には、色やガ言なでかありますいろう サで記事が目立っています

ありますり 然しららるな理由では 頃、日本てそとも盛かって英語 ならばそれらによって書かれたされ 本人が次出ますしたに丁英語 いで立取が文本が沢山あるからで 書ってある看板がかけてあり、商品 か出土小ている事によってカガリます おります、実際いくこかの天写動 には英語うレッテルが張ってらります 英語のそんない立く使われて 又英語が上手に讀めて話せる日

私に何か書く称にとり事でした まりでせんけれど松う愛強っこと が主情私は日本語が余り上季は 英語かようにはりないでしよう 覚えるないころも生り発音に ですからその為には正し、発音を 便利でしてう ですからに日さんも け小でなりません、私の意見ですけ 手に書ける様に軍務の級り上本一首支那に毎日とこからかく親を一用す -て又英語で作文とか手紙が上 にある。色々な文章をよる暗記れ 気を付けなければなりません。う の終りにけ少し英語が話せるこ 勉強するなら此の中を校の手 川とも若し皆さんかあるいてノ アンドベティーを毎月一生機会 になると目でいます たさし

部員 実はこうしたたえでもつ人が世 此の話はみかしく前こたますが と言うなというといかあります

藤 恒久君 雅彦君 小下の野事へ大いと言いすす 放一なくてはならたいと言う 学校でやカオー、ゴはルフラ 状パーガけ水げならないろっす。 らいどうした一天、辛をするいと らならです。 知用けられる断然上されけれ 今れでかは、事か思い事である の中にけび山います

一盗む人かありました 「それは大変要い事ですからあま

つんけんな必事をしました これは御だいす 新鍋を と言って見古する人があると、其 ルチで毎日ヨででんでいたって かは、すっかり止めましょう」 十八、三小からけ毎月一打了過 盗去事を止めましようなしこ む事にし 当して来、年の正月か ラと云う事は男子として大野手を 当に取づかーいまし日べませんか 水な社会人となるへく教育され たのい今そですた新事が大分 とつくに静の用は立私に行れてい けないとは見いませんか、坊日さんか ている治里中学の生徒として水 ると国人いする こうで作物用にこて注意するけ 頑張小小洛星の老人より 一方れないと言う事は本当におさ 人人遷きの決心をもっからば

ラーア今後で 一方月日 五月三百 御一大二大被日 五月五日 子供四日 主法行 全校遠是 有志衣笠山へピクラク 新禄品保津 下り 炭山まて

北かと言うことは出来ません、何改

るので英语か出来るの日非治生

理由は そうさくわかっているする

聖明

うううか

新である 一大の題がことによって他令

懸賞募集作文 学当初是正復了小人校則 何敬松達は静着を许ら ねばならぬかり と組

校舎のでは静雨」を守られて ならめ」といか箇条かあり又先 はておううと見う、では何改こ とあず、これは一般から心を花着 調べてみると記行かけってして 程達は何故校会ので解南で 我度となく国かられている。でけ け起度を正しく保っことの意 行らればならぬのであろうか まかからそ、時事」といる言葉を 門道という言葉を一字源が

外に 学校け空向をする所できる 落着とないと正し、能度」が のことが校合内で必要なのであ う事である この語かないは解解」かい生りきつ だがないけど私造によって大切などの てある カろうか 又神様のおます南 えてまるのてはな は自分を及省することも出来るし はならてある。一番かかべてく時に教達

てけると知達が放金ので静南」を守すごとは許されない以上の様に考え のんを騒がし、世の人々のたえを意乱 と水はからわ理由に明かっまう がなければ香り言いくは、れたことい って知識を広め人格を磨くたのに下騒がし、私達が学生の本分を好 の敬言首、ライオその他の野者で非常 荷し静遇が落着、天心と正しい うちうない 一杯のお茶を静ない は絶之方静南三年了ことによっ 校外に出ると電車の知言、自動車 中口学校という特別以環境、特 了落着、人心を身に付けれた 八本校の旅が直でサルト環境 大のなに構えてあると見きまと何とな 又枝外に於てていいらなくではなられ 中の内題ではなく、友庭に於っま 静思は守ら小易いのであるからな 能震してあるならけ、小は数合ので 中一日何も知子に横の時計を 元月自分上尾先に震床にこれ 公奈は非常と湯い茶であた 見ると時刻は十一時になったとう 大きかかして食みなからてあって英 自分人国難な数学り勉強に到 或る夜兄上緒に群かいめたしてい

震、茶を飲んだ為かかかう あから なの中は真晴でを船である。気の中は真晴で 寝小ない まだ僕は眠れないつで、僕傷 母並がに兄姉は勿論の事」日川 入った、外はしんと静まりかる 同表を合せて見てなって明日の时 するかを試して見た、切音が お音つしない ている半時間程に云が失政

> 走子行人突然機下職了 えからいた足で歩うて行るか だまりかえる トまつに 整点にた、すると同時に大き 又の寝言が南之は 原行大家 十分程後又よってきる歌が りに吹え作めた大の声かれな 横を通りすぎに頃大のまかし しまうと又 いなきがするいびきがいんで 直ぐ後からサイドガー そとの特にし

くそれから眠てしまったのであっ

それからの事は覚えていない あっ

水がなまっつ するつ人 シャくちんのく

んだか気味の見い歌の足者、家の るれなのようととうて

七つ「国之て本、たのは、コツコツ」とな

方二に どて夜け等団生活をしている

石はない

ければ正しくないことが出まう

時を如何打る場所にあってるよ

への道を正しく歩み行くまが

達の協力がくしてけ発展を

た事け困難でありますので石と

切力し合、科産の治星、新南を味は家で食る時ましてするからし

がいくら好カーフと他の諸君

仕上げてみでます 然し和幸

へった以上はどうでもこうてい

ゆかれるかまだら気山でよりきす

を作る重していまくまして 産が新南部に入る良き新南

私達の道井きとかってか何かる

私達は永遠なるそのへの限り 夜空にまなたく星を仰い時

校言して星の形をしていす

ある治司生新闻の編集に從事す

未知かる科

ない赤望の目覚めるのをあける

ちーて此の希望の日生が

何之小さくとも治中にきらまうと 出来るように望しかってあります

一人種人目生の様に私達力

きさらに草きとなる様に誇り

をそう努力せれはかりません

方の指語 思います

可被達協力を期待

午後における 皆様

く四八元 休息後前山へと向こと

川ら川ないてあらう

をして対り青い色は忠誠を音

する事を教之ているでのアありま いてそ 前度に自分の日前音を アアトール学園浴里中学校り

早やラ月ちの前、存枝の切状に すら励む事を楽しみにてい 假小皆と其た日々樂しく動 ある地中に入学しても

至り和度五名の都見の青 又本格的バクニブ活動を見うに おいてくんれきくっとけ日にしかる 川の水は水面に出た岩であたりながら しさは何とも言えない よった緑色に揮き南合い自然のま

「たんないんがもありえ生するぬかでき 到着する事が出来に つを待ちかれてた 体見傷時まった はおけれと皆る変れはて不見所に着 歩いて行くと保津川下いるしている 僕産は保津川でりるこうないく つて僕等も手を振って、道はな 人をかいからも嬉しそうにする様な うすうな美しいるとこと明ってから

之派かそうに仕上げて行きたいと又生主方とを造っよこに送うなには 吸いこむ早連輪当を南子食べい時う 体見為下下保津川の新鮮以空気を過一杯 今日日美一、早八三の保津川でゆ こりとが人に楽しさけ永久に まず、人力を表演 からく天才をたり

1 3. 3

「それなかが痛 さてい を食べたられとりてにちまり けなかる痛いると大意な ペギースガルが

ちの日子一世和父さんとハキー

未の頭が南ち何もままだい 「今日は七年ましてやこっとあって

ペギー

お欠う

何かいれる語めになったらさ 「今小は木、頭がからっけだからんな